

11番 合砂 丈司でございます。

次の点について質問いたします。

1 町の公共交通対策について

町民バスは、住民生活の足として、町民の方々の移動を長年支えてきたところであります。

しかしながら、近年は、少子高齢化、人口減少、コロナ禍などにより、このバスの乗客が少なく、時には、乗っていない場合も見られ、もったいないとも言われております。

また、高齢者の方々からは、「病院に行きたいのだが、バス停留所までの距離や、冬期間は転倒の恐れもあり困っている。」「バスが大きいいため、乗降階段の段差が大きく、乗り降り等移動にも困っている。」などの声を聞いております。

そこで、私は、乗客のいない時間帯のバスの運行を調整し、その分の運行経費を充て、新たな公共交通の一つとして、できるだけ家の玄関先から移動先まで、行きたい時に行きたいところに行けるように、乗り降りしやすい小さいバスで、予約方式等での運行とすべきではないかと考えます。

特にも、通院は、町内外の病院を含めて、乗り換えが少ないと住民が助かるのではないかと考えます。

高齢者の方々の主な収入は年金だと思っておりますので、国・県

補助等を活用しながら、低料金で運行できるようにするべきであると考えます。

4月からは、「ライドシェア」が一部解禁され、日本でのサービスが開始されると聞いております。この制度を活用しながら、交通空白地と言われている当町の各地域でのタクシー型バスの運行も考えられるのではないのでしょうか。

少子高齢化、人口減少のなかで、中居町長が常日頃おっしゃっている「岩泉に住んでよかったと思えるまち」にするため、町の公共交通対策をどのように進めて行くお考えか見解をお伺いします。

以上で本席からの質問を終わります。

11 番 合砂 丈司 議員の御質問にお答えします。

初めに、町内の公共交通の状況であります。本町と盛岡市、宮古市を結ぶ広域路線バス3路線、町内を運行する町民バス9路線を運行しておりますほか、一部については地域振興協議会が二次交通の運行を実施しております。

また、令和3年度からは安家地区において、デマンドタクシーの実証運行を行っております。

町といたしましても、地域の暮らしを支える移動手段の維持・確保は最重要課題であると認識しており「未来づくりプラン後期基本計画」におきましても、利用者のニーズと地域性を考慮した、交通体系の構築を目指すこととしており、現在「町地域公共交通計画」の策定を進めているところであります。

議員御提言のデマンドタクシーにつきましては、令和6年度において、運行事業者と協議を重ね、利用者数が少ない町民バス路線の運行便数を見直し、デマンド交通への切り替えを検討してまいりたいと考えております。

併せて、デマンド交通の運行範囲につきましても、国土交通省東北運輸局の指導を得ながら検討を進めてまいりたいと考えております。

料金につきましては、現在、65歳以上の町民の皆様が町民バスを利用する際に、運賃の2分の1を補助しておりますが、利用者の負担が大きくなりたくない料金設定とな

るよう制度設計について検討してまいりたいと考えております。

また、「ライドシェア」につきましては、一般ドライバーが自家用車を使い、有料で送迎をする仕組みであり、出発地や目的地が同一の方々が相乗りする「カープール型」と、運転手が有償で利用者を送迎する「配車型」の2種類に大別されるものであります。

国では、令和6年度に「配車型」のライドシェアを部分解禁することではありますが、基本的にはタクシー事業者が運行主体となり、料金体系も同様と捉えておりますので、本町での導入については、引き続き制度の詳細な内容等について、情報収集に努めてまいりたいと考えております。

いずれにいたしましても、町民の皆様が利用しやすい持続可能な公共交通の構築を目指し取り組んでまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

以上で答弁を終わります。